

**図書館だより**

中央図書館 ☎258-6464  
火～金 10:00～19:00 土、日 10:00～18:00  
竹間沢分館 ☎274-1722  
火～日 11:00～18:00



**8月の予定**

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	9/1	9/2	9/3

**〈中央図書館〉**  
★夏休み科学工作教室 〈申込制〉  
8月25日(木)  
☆夏のおはなし会 〈申込制〉  
一ちょっとこわい話などー (昔語りと紙芝居)  
8月28日(日)  
※上記イベントは申し込みが必要です。  
詳しくは右下をご覧ください。

**ぐりぐらタイム**  
(絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)

第1・3金曜日  
11:00～11:15 6ヶ月～1歳 (保護者同伴)  
11:20～11:40 2・3歳～ (保護者同伴)

第2・4火曜日 16:00～16:30 3歳～小学生  
♥としよかん・くらぶ  
第4土曜日・会員制  
10:10～11:00 1・2年生35名  
11:10～12:00 3～6年生50名  
※本の読み聞かせとブックトークで本に親しみます。

○ブックスタート  
(4か月児健診の時、保健センターにて)

◎ブックスタートプラス  
(2歳児歯科健診の後、中央図書館にて)

**〈竹間沢分館〉**  
ぐりぐらタイム  
(絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)

第4火曜日  
11:00～11:30 6か月～3歳 (保護者同伴)

◆スイミーおはなし会  
(絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)  
第4木曜日 16:00～16:30 4歳～小学生

**【地域文庫のお知らせ】**  
(児童書の貸出、お話し会など。)

つくし文庫・8月13日(土)、10:00～12:00  
場所／上富1区第1集会所にて

あらた文庫・毎週火曜日 15:30～18:00  
場所／荒田自宅にて  
(藤久保536-4 三芳東中学校近く)

**【一般書】「花火ー火の芸術ー」(岩波新書)**  
小勝郷右著  
岩波書店 1983年7月初版発行  
請求記号 一般S575オ

代々続いた花火師の家に生まれ、世界47カ国で花火を打ち上げてきた著者は、花火の歴史を概観したあと、製造法や打ち上げの実際を紹介し、世界各地の花火のお国ぶりにもふれ、花火師の心意気を伝える。

**【児童書】「素数ゼミの謎」**  
吉村仁著 石森愛彦絵  
文藝春秋 2005年7月初版発行  
請求記号 一般486ヨシ

13年あるいは17年おきに何億匹も大量発生する、アメリカの不思議な謎。17・13という「素数」に隠された謎とは。日本人科学者が初めて解いた、奇妙な奇妙な「素数ゼミ」の秘密。子供から大人まで楽しめる科学読み物。

**夏休みも図書館で！**

★夏休み科学工作教室 〈申込制〉  
10:00～12:00 小学1・2年生 35名  
内容：手作り聴診器でいのちの音をきこう  
13:30～15:30 小学3～6年生 35名  
内容：鏡の実験と万華鏡  
講師 坂内登美子 (子どもの科学の本研究会)  
申込み先 中央図書館。電話不可。

☆夏のおはなし会 〈申込制〉  
一ちょっとこわい話などー (昔語りと紙芝居)  
10:00～10:40 5歳～2年生 40人  
内容：親子で楽しめるお話  
11:00～12:00 3年生～おとな 40人  
内容：聞きごたえのあるお話  
申込み先 中央図書館。電話可。



▲昨年の科学工作教室の様子

**【一般書】「甲子園一刻まれた伝説」**  
矢崎良一編・著 渡辺勲郎著  
PHP研究所 2010年8月初版発行  
請求記号 一般787.7ヤ

箕島V.S. 星稜の延長18回の攻防、豪打池田高校の衝撃、駒吉V.S. 早実の決勝再試合など、甲子園でのドラマチックな名勝負・名シーンをめぐる選手、監督の思いとその後の人生の軌跡を綴る。

**【一般書】「出口のない海」**  
横山秀夫著  
講談社 2004年8月初版発行  
請求記号 一般913ヨコ

甲子園の優勝投手並木は、腕の故障を克服すべく、再起を図っていた。しかし時代は彼を戦場へ、そして特攻兵器「回天」へと追い込む。戦場に散った、変わらない青春のかたちを描く。



**図書館の本棚「夏の風物詩特集」**「夏といえど〇〇」別で紹介中。本を通じてより夏を楽しんでください。

**7月6日(水)、藤久保小学校の校庭では、いつもと少し違う光景が見られました。**  
校庭の中央に横断歩道が描かれ、信号機が設置され、警察の方や、町の職員の方が集まり「自転車運転免許制度」の取り組みが行われていました。

「自転車運転免許制度」とは、埼玉県警が行っている自転車の安全運転マナー習得のための制度のこと、昨年までは東入間警察管内の三芳町、富士見市、ふじみ野市の2市1町で、それぞれ小学校1校ずつ計3校の学校で実施していました。

昨年まで町では中学校に進学後、自転車通学をする児童が多い上富小学校の4年生を対象に、この取り組みを行っていました。しかし、町内には交通量が多い道路があり、また、町議員さんからも実施に向けた推薦を受け、本年度より、町内全小学校の4年生を対象にこの制度を実施することとなりました。

今回訪れた藤久保小学校の子どもたちは、いつもと違う雰囲気少し緊張しながらも、警察の方の話を聞いたり、実技試験やペーパーテストに取り組みたりしていました。

実技試験の始まる前には、「できるかな...」「君ならできるよ!」と、子どもたちも励まし合っていました。



自転車運転免許にむけて練習中

**自転車運転免許証を持っています！教育トピックス**

今年訪れた藤久保小学校の子どもたちは、いつもと違う雰囲気少し緊張しながらも、警察の方の話を聞いたり、実技試験やペーパーテストに取り組みたりしていました。

実技試験の始まる前には、「できるかな...」「君ならできるよ!」と、子どもたちも励まし合っていました。

町では、これまでも全小学校で「交通安全教室」を実施していますが、それに加え本制度を取り入れることで子どもたちの安全意識をさらに高めていこうと考えています。

みなさんも、自転車の乗り方について、あらためて考えてみませんか。  
(図)学校教育課(523)

同土で励まし合っている場面も見られました。全ての試験が終わると一人一人に自分の顔写真入りの自転車運転免許証が交付されます。子どもたちにとっても誇らしいものとなるでしょう。

子どもたちに身近な存在の自転車ですが、使い方を誤るとケガをしたり、場合によってはケガをさせてしまったたりすることもあります。

町では、これまでも全小学校で「交通安全教室」を実施していますが、それに加え本制度を取り入れることで子どもたちの安全意識をさらに高めていこうと考えています。

みなさんも、自転車の乗り方について、あらためて考えてみませんか。  
(図)学校教育課(523)

**みよし歴史探訪 文化財を訪ねて**  
第五回 木ノ宮地蔵奥の院石地蔵

三富新田開拓の中心地ともなった、地蔵林に位置する木ノ宮地蔵堂。この地は、地蔵街道や江戸街道などが分岐交差し、古来より武蔵野の交通の要衝として信仰の対象地であったようです。現在も地蔵堂の裏手にひっそりとたたずむ奥の院に、町指定文化財となっている、古風な丸彫坐像の石地蔵が祀られています。

この石地蔵は、江戸時代初期の寛永十九年(二六四年)に奉納されたもので、入間東部地区に残る石地蔵の中では最古のもので、背面には「時寛永十九年五郎なる人物が、現世利益と子孫繁栄を願って再建したものであることがわかります。木野目の杉山家は、木野目長者ともいわれた資産家で、神仏に対する寄進も多く、代々信仰心の厚い家柄であったようです。

「武蔵野木ノ宮地蔵縁起」によると、鎌倉時代、二階堂隠岐入道が建立した七間の堂宇が寛永十九年に焼失したと記されています。このことから、この石地蔵が堂宇焼失直後に奉納されたものと見ると、三富の開拓(元禄七年・一六九四)から遡ること五〇年以上もの昔、荒涼とした武蔵野の原に祀られた木ノ宮地蔵は、すでに人々の厚い信仰を集めていたことがうかがえます。

八月二三日(宵宮)・二四日は、地蔵さまの縁日です。縁結び・子授け・安産に御利益があるといわれる木ノ宮地蔵尊。当日は、普段静かな境内も、折願やお礼参りの参詣者で賑わいます。露店も多く立ち並び昔ながらの縁日の様子を楽しみながら、開扉される本堂や奥の院を訪れてみてはいかがでしょうか。

八月二三日(宵宮)・二四日は、地蔵さまの縁日です。縁結び・子授け・安産に御利益があるといわれる木ノ宮地蔵尊。当日は、普段静かな境内も、折願やお礼参りの参詣者で賑わいます。露店も多く立ち並び昔ながらの縁日の様子を楽しみながら、開扉される本堂や奥の院を訪れてみてはいかがでしょうか。

(図)社会教育課(517)



奥の院の石地蔵



地藏さまの縁日 準備の様子